



カーリング競技で重要な 氷面をブラシでこする技術の向上

北見工業大学は、
カーリングのオリンピック出場チームを抱える北海道北見市にある大学
です。世界で戦う選手の身近な存在として、工学的立場からカーリング
選手の技術向上を支援する研究を進めています。



北見

カーリングでは、
投げられたストーンの速度や
方向を修正するための、
氷面をブラシでこする動作
(スウィーピング)が重要です。

ブラシに加わる力(スウィーピング力)を計測する装置を開発(ゴカ)



北見工業大学では、
選手のスウィーピング技術を評価する
ための、「スウィーピング力」計測
装置を開発しました。
氷面に加わる垂直方向の力と水平方向
の力を知ることができます。

スウィーピング力は、

- ボールジョイントの軸方向に加わる荷重
- 軸に対して垂直方向に加わる荷重
- シャフトと氷面のなす角度から、算出します。



開発装置で計測できるようになった
スウィーピング力の値は、
カーリングの指導や競技力向上に役立ちます。

